

令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人NOMOベースボールクラブ

第1 特定非営利活動にかかわる事業

1. 野球クラブ支援

(1) トレーニング・春季キャンプ

令和4年度は、基礎体力向上を目的としたトレーニングを1月5日から但馬ドームで開始した。また、高知県春野総合運動公園野球場で春季キャンプ(2/28-3/10)を実施した。今年はメンバーを刷新したため、チームプレーの進化を目的に連携プレー等、実践的な練習を重点的に行うなど充実したキャンプとなった。

(2) 第93回都市対抗野球大会兵庫地区第一次予選

初戦で関西メディバースボール学院に22-1で大勝し、続く準決勝もJFFシステムズに8-1で勝利したが、決勝戦で神戸ビルダーズに1-3で敗れ一次予選で敗退した。

(3) 第46回全日本クラブ野球選手権一次予選・西近畿代表決定戦

チームの最大の目標である全日本クラブ野球選手権大会出場を賭けた一次予選は、1回戦神戸レイルスターズに9-0で完勝、続く準決勝もJFFシステムズ9-0と寄せつけず順調に駒を進めた。第一代表決定戦は、県警桃太郎に0-3で敗れ続く第二代表決定戦でYBS播磨に6-2で勝利し、西近畿代表決定戦に進出した。

西近畿代表決定戦は、準決勝で強敵マツゲン箕島硬式野球部に6-3で勝利し波に乗り、続く決勝戦は県警桃太郎に8-0と完勝、3大会ぶり6回目の全日本クラブ野球選手権大会の代表権を獲得した。

(4) 第46回全日本クラブ野球選手権大会

第46回全日本クラブ野球選手権大会は、全国から16チームが出場して、神奈川県大和スタジアム、等々力球場を併用して開催された。NOMOベースボールクラブは、1回戦で北海道代表トランスと対戦した。NOMOベースボールクラブが先制したが、中盤はお互いに点を取り合い、3-2とNOMOベースボールクラブリードで迎えた9回裏、適時打で同点とされ勝敗はタイブレークに持ち込まれた。

タイブレークは両チームとも死力を尽くした攻防となったが、延長13回裏、2者連続の押し出しでサヨナラ負けを決し2大会連続の初戦敗退となった。



(5) その他の大会・通常練習

3月に開催された春季支部大会では、1回戦で日鉄広畑に0-7で敗れた。新型コロナウイルスが収束しない中、満足な練習ができなかったものの、通常の練習では、こうのとりのスタジアム、植村直巳記念球場、出石球場、冬季は但馬ドームを使用し、選手の競技力の向上とチームプレ

一の強化等、総合的な練習を行い公式戦に向けて準備を行った。

(6)公式戦戦績：11試合7勝4敗

月日	大会名	対戦相手	結果	球場
3月1日	春季県大会	日鉄広畑	×0-7	明石トーカロ
4月3日	都市対抗一次予選	関メディベースボール学院	○22-1	G7神戸
4月9日	〃	JFFシステムズ	○8-1	高砂
4月10日	〃	神戸ビルダーズ	×1-3	〃
4月30日	クラブ選手権一次予選	神戸レイルスターズ	○9-0	〃
5月3日	〃	JFFシステムズ	○9-0	〃
5月5日	〃	県警桃太郎	×0-3	〃
5月7日	〃	YBS播磨	○6-2	〃
7月2日	クラブ選手権西近畿予選	マツゲン箕島硬式野球部	○6-3	今津
〃	〃	県警桃太郎	○8-0	今津
8月27日	第47回クラブ選手権大会	トランシス(TRANSYS)	×6-7	大和スタジアム

(7)オープン戦戦績：11試合4勝5敗2分

月日	対戦相手	結果	球場
3月9日	四国学院大学	×1-2	春野
3月25日	履正社医療スポーツ専門学校	×2-6	履正社箕面
4月22日	日鉄広畑	○5-3	こうのとり
4月25日	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	△5-5	こうのとり
5月28日	同志社大学	×2-11	同志社大学G
6月3日	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	△2-2	こうのとり
6月11日	大阪工業大学	○13-1	大阪工業大学G
6月18日	京滋大学選抜	×3-12	佛教大学G
6月24日	履正社医療スポーツ専門学校	○12-0	こうのとり
7月22日	履正社医療スポーツ専門学校	○3-2	履正社箕面
8月3日	天理大学	×3-4	白川

(8)令和4年度公式戦個人タイトル

ア. 投手部門

(ア)最多勝(5)・最多奪三振(42)・最高勝率(.625)…高取将之介

(イ)最優秀防御率(1.75)…柳原優太

イ. 打撃部門

(ア)首位打者 柳川昇嬉(.439)

(イ)最多本塁打 平山雄大(1)、田中心平(1)

(ウ)最多盗塁 柳川昇嬉(5)、渡邊斗樹也(5)

ウ. 兵庫県連盟社会人野球外野部門ベストナイン

柳川昇嬉(初)

2. ベースボールクリニック事業

令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催の縮小を余儀なくされたが、豊岡市「コウノトリスタジアム」を拠点に少年野球(ティーボール)教室を3回実施し、名の参加者があった。前年に続き保育園児に対しては、ティーボール教室を積極的に展開したことで、野球というスポーツの魅力を、多くの園児たちに伝えることができた。

ア. 第1回豊岡市主催少年野球教室(令和4年11月10日)

参加校・参加者数：田鶴野小学校46名、竹野小学校31名、福住小学校32名 計109名

野球未経験児童を中心に学校訪問形式で開催した。指導中心ではなく遊びの感覚で選手と児童と一緒に楽しむことで、野球の楽しさ、面白さを児童の皆さんに体感していただいた。

イ. 第2回豊岡市主催少年野球教室(令和4年11月12日)

参加チーム・参加者数：兵庫豊岡ボーイズ16名、ヤング兵庫但馬28名 計44名

豊岡市の行事である『夢へのチャレンジ』と題し、昨年続き夢先生を小池理事(元近鉄バッファローズ)が努め指導に当たった。投手陣は、小池理事が直接指導を行い、野手はクラブの所属選手がポジション別に指導を行った。打撃練習では、小池理事がバッティングピッチャーを務め、元プロ野球選手のボールに夢中でバットを振る選手たちの姿が印象的であった。

ウ. 第3回豊岡市主催少年野球教室(令和4年11月17日)

参加校・参加者数：三江小学校24名、新田小学校34名、神美小学校23名 計81名

第1回に続き小学校訪問形式で実施した。特に神美小学校の児童は、野球の醍醐味である『投げる』『打つ』『走る』を体験し、野球というスポーツの面白さを体験していただいた。

この野球室を通じて、野球に興味を持ち楽しく時間を過ごすことで、児童の思い出の一助になれば幸いであり、今後の活動を通じて、豊岡市の児童達へ野球の普及が促されるとともに、健全な野球少年、少女の育成に寄与していく所存である。



(5)指導者養成・派遣

ジュニアオールジャパンへの役員派遣 新型コロナウイルス蔓延拡大防止の観点から中止

(6) 野球大会の開催

ア. 第8回NOMO・KRIYAMA ALLSTARGAME

◆令和4年1月10日開催予定

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ. 第19回NOMOCUP2021

◆日時：令和4年12月4日-5日

◆場所：但馬ドーム

◆参加チーム

参加チーム
兵庫山崎リトルリーグ(リトルリーグ)
大阪茨木リトルリーグ(リトルリーグ)
大阪泉州ボーイズ(ボーイズ)
泉州ボーイズ(ボーイズ)
東加古川・山陽連合(ヤングリーグ)
ヤング姫路アイアンズ(ヤングリーグ)

◆戦績

1回戦
東加古川・山陽連合 5 - 0 大阪茨木リトルリーグ
兵庫山崎リトルリーグ 9 - 0 ヤング姫路アイアンズ
準決勝
東加古川・山陽連合 7 - 5 泉州ボーイズ
大阪泉州ボーイズ 14 - 2 兵庫山崎リトルリーグ
決勝
大阪泉州ボーイズ 12 - 1 東加古川・山陽連合

本大会は、野球少年たちの日頃の練習成果を発揮する場と試合を通じ、リーグの枠を超えて親睦を深める機会を提供することで、青少年の健全育成と野球の振興普及に貢献することを目的に毎年開催している。今年も各リーグからそれぞれ2チーム、合計6チームが出場し熱戦を繰り広げた。

優勝は、ボーイズリーグ代表の大阪泉州ボーイズが、決勝でヤングリーグ代表東加古川・山陽連合に12-1と大勝した。



(7)その他この法人の目標を達成する事業

ア. 地域交流事業

(表彰)

朝来市まちづくり功績者

古田琉翔(朝来市出身)

イ. 広報活動

ホームページ、会報(年2回)にて情報提供を実施

第2 その他の事業

1. 物品販売業

毎年、クラブオリジナルグッズの定期販売をホームページ・FAX等で行い、寄附金以外の活動資金の確保を図った。

2. 支援自販機事業

NOMOベースボールクラブでは、売り上げの一部がクラブに還元される『NOMOベースボールクラブ自販機』を飲料会社様のご協力により豊岡市内に設置している。

3. 理事会・総会

第1回理事会：令和4年3月13日

第2回理事会 令和4年12月3日

令和4年度通常総会：令和4年3月13日

以上